

令和7年度 第1回和泉市教育委員会評価委員会

日時 令和7年5月15日（木）午前10時00分～

場所 和泉市役所3階 3A・3B会議室

次 第

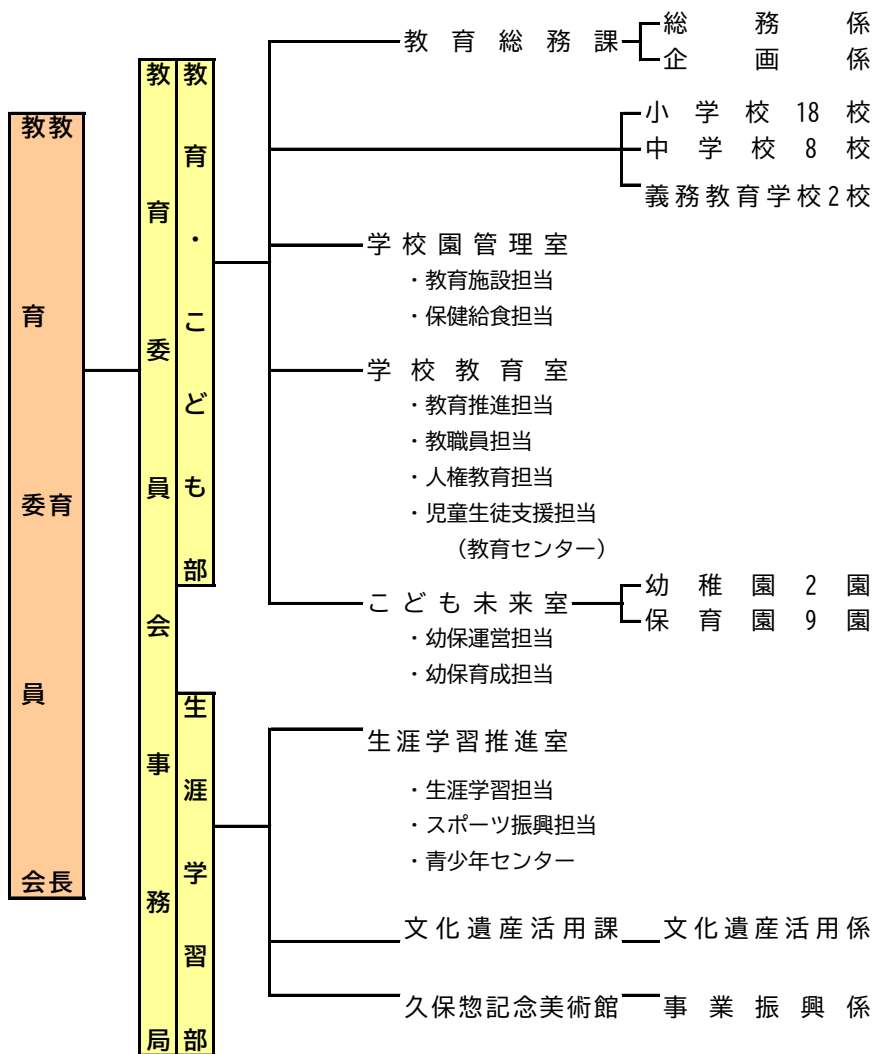
1. 開会
2. 教育次長あいさつ
3. 評価委員紹介
4. 職員紹介
5. スケジュール確認
6. 生涯学習部ヒアリング
 - （1）久保惣記念美術館
 - （2）文化遺産活用課
 - （3）生涯学習推進室

令和7年度（令和6年度事業対象）
和泉市教育委員会の点検・評価のスケジュール

	教育委員会	事務局	評価委員会
		○前年度の点検・評価に 対する意見の精査 ○6年度事業の評価方法 の検討 ○点検・評価の素案の作成	
5月 15日(木)		○点検・評価シートの説明	<u>第1回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> （生涯学習部）
29日(木)		○点検・評価シートの説明	<u>第2回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> （教育・こども部）
6月 26日(木)		○委員の意見調整	<u>第3回評価委員会</u> （点検・評価報告書（案）の 確定）
8月 28日(木)	<u>教育委員会第8回定例会</u>	○点検・評価報告書（案） 議案提出	
9月		○議会に報告・公表	

(令和7年4月1日現在)

教育委員会機構図



取組項目説明順序

説明順	取組項目	時間目安
1 久保惣記念美術館	23	10:10～10:20
2 文化遺産活用課	21・22	10:20～10:35
3 生涯学習推進室 (青少年センター)	26	10:35～10:45
4 生涯学習推進室 (スポーツ振興担当)	18・19	10:45～11:00
5 生涯学習推進室 (生涯学習担当)	27・28 (読書振興)	11:00～11:10
	29 (国際交流)	11:10～11:20
	16・17 (生涯学習)	11:20～11:30
	20・24 (生涯学習)	11:30～11:40

取組項目番号	事業名	質問	回答
16	生涯学習環境づくり	【平良委員長】 17とも関係するのですが、「まちづくり本科、まちづくりスキルアップ学科、観光おもてなし学科の3コースを受講した24人の人たちは、学習の成果を活かす機会がありますか。	【平良委員長】 いずみ市民大学は、市民の学習意欲の醸成やまちづくり活動を担う人材の育成を目的とし、卒業生が地域の中心となり、様々な地域活動を展開することを期待するものです。一例ではありますが、卒業生が学習の成果を活かし、「まちセミ・IZUMI」（市民参加型セミナー）のイベントを立ち上げるなど、様々な場所でご活躍いただいています。
18	スポーツ施設の運営	【平良委員長】 社会体育施設利用者の前年度比増加人数(目標値:1万人)の目標達成率は、R4:1253.7%、R6:317.3%となっていますが、目標値の設定は妥当なのでしょうか。	【平良委員長】 コロナの影響を受けた令和3年度実績をベースとして、毎年度「1万人増加」することを目標としたため、令和4年度は、1000%を超える達成率となりました。また、総数ではなく増加人数を目標としたことにより、達成率が大きく変化する要因にもなっているため、計画を見直す際に、増加人数を含めた総数を目標にするなどについて検討します。
19	スポーツ活動の普及	【平良委員長】 部活動地域移行計画策定委員会を開催した際、特に課題としてあげられたことはありますか。 【杉田委員】 「周知方法や内容を充実していく」について、具体的にどのようなことが課題だと認識していますか。	【平良委員長】 「地域移行の受け皿となるスポーツクラブや文化団体など地域資源が十分でないことが課題であること」や「地域クラブ活動の定義や要件、認定方法などについて、国の動きを注視すべき」などのご意見をいただきました。 【杉田委員】 現在は、高齢者の参加は多いものの、若年層の参加が少ない傾向にあります。今後は、子ども連れの家族が気軽に参加できる仕組みなどについて検討したいと考えております。

		【川口委員】 部活動地域移行の検討状況についてご説明ください。例えば、令和〇年度までに学校の部活動を地域に完全に移行させるといった、取組の期限や方針について具体的に決まっていることがあればご教示ください。	【川口委員】 地域移行の受け皿となるスポーツクラブや文化団体など地域資源が十分でないことや部活動に参加したい意向を持つ学校教諭が一定数いることを踏まえ、本市では、当面の間、完全な地域移行をめざすのではなく、外部人材（部活動指導員）の充実や部活動の合同化・拠点校化を推進することを検討しております。
20	文化芸術活動	【平良委員長】 「槇尾っ子まつり」のように、中学校区などで子どもたちが日頃の練習の成果を披露する場が確保されている例は他にありますか。	【平良委員長】 6月8日に弥生の風ホールで開催を予定している文化芸術振興事業実行委員会主催の「プラスフェスタ inIZUMI」では、文化協会所属の団体のほか、和泉市内中学校4校（石尾、南池田、北池田、南松尾はつが野学園）から吹奏楽部が出演予定です。
21	文化財の調査研究・保護継承	【平良委員長】 歴史公文書の管理を行う職員を継続的に確保する目途は立っていますか。 【杉田委員】 「郷土史読本を活用し、市民にPRする」とは具体的にどういことでしょうか。可能であればもう少し具体的に書いてはどうでしょうか（例えば、郷土史読本を使った講座を実施するとか、郷土史読本の販売促進に努めるとか）。	【平良委員長】 歴史公文書の管理を担う専門職（学芸員）として、正職員2人と会計年度任用職員2人を配置しております。また、「文書館」機能はいずみの国歴史館にて開設することから、歴史館に配置している会計年度任用職員（学芸員）3人も業務を分担します。以上の体制にて、歴史公文書の評価選別や保存等に係る技術・ノウハウの継承を図ってまいります。 【杉田委員】 郷土史読本を活用した歴史講座や出前講座のほか、学校との連携による出前授業の実施などを計画しており、その旨を加筆します。

22	文化財の活用	【平良委員長】 高槻市安満遺跡公園で視察した多目的広場やにぎわいテラスの整備手法についてはどのようなことが参考になりましたか。 【杉田委員】 ここでいう「先進事例」の公園はどういう特徴がある公園ですか。	【平良委員長】 多目的広場については、イベント会場として使用するだけでなく臨時の駐車場・駐輪場として活用していることや、にぎわいテラスについては、毎週末、キッチンカーやミニマルシェなどを開催していることが参考になりました。 【杉田委員】 高槻市安満遺跡公園のように、史跡の保存だけでなく、その活用にも力を入れ、史跡を活かした地域の活性化・魅力発信を行っている公園です。
23	美術館の運営	【平良委員長】 ①2025 大阪・関西万博によるインバウンドを含んだ大阪への来訪者を呼び込む事業について教えてください。 ②「和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会」によって策定された美術館運営ビジョンによって示された「今後目指すべき姿」について教えてください。	【平良委員長】 ①万博開催期間中に外国人の万博従事者等を対象にモニターツアーを実施します。旅行業者に委託し5回実施する予定で、参加条件としてSNSでのフォロワー登録、情報発信の協力を要請し、海外に向けての美術館のアピールを図ります ②ビジョンとして「多様な主体が美術館のリソースを最大限使いこなすことで美術館とまちが融和した質の高い空間を形成し、和泉の価値と創造性を高めます。」と明文化しています。その内容としては所蔵品や施設、寄贈された土地を使いこなしていくこと、ミュージアムタウンなど美術館とまちの融和を図っていくこと、和泉のブランドイメージの向上、子どもたちの創造性及び地元企業との交流を高めていくこと、をうたっています。

		【杉田委員】 入館者数の伸び悩みについて「事前のPR不足が大きな要因」とのことですが、PR不足の背景は何ですか（可能な範囲でもう少し詳細が知りたい）。	【杉田委員】 展覧会の事前広報について、ポスター・チラシが開催日の数週間前の掲示や配付と日程が遅れがちであったこと、チラシ・ポスターのデザインに訴求力が足りなかったことを要因の一つと判断しています。
24	青少年の健全育成	【平良委員長】 「青少年を非行から守る」市民大会を中止したことに伴い、「少年の非行・被害防止に係る啓発チラシを作成し、町会・自治会での回覧・掲示、市内公共施設での配架、いずみメールでの配信等を実施し、啓発活動を行った」とありますが、効果はありそうですか。	【平良委員長】 これまで実施してきた「青少年を非行から守る」市民大会については、参加者が100人程度に留まり、対象者が限定的であったところ、より広く少年の非行・被害防止の周知啓発を行うことができた点で、効果があったものと考えます。
27	図書館の運営	【平良委員長】 R6年度に行った講演会やワークショップの内容について教えてください。 【杉田委員】 電子図書館の普及状況について統計的な把握はしていますか（しているのであれば、具体的にどのような状況か）。	【平良委員長】 絵本作家 鈴木まもる氏による親子向け講演会（参加者：92名）、児童文学作家 宮下恵菜氏による小中高生向け講演会・ワークショップ（参加者：46名）、小説家 中山七里氏による一般向け講演会（参加者：60名）を開催しました。いずれも当初の定員を上回る応募があり、盛況に終わりました。 【杉田委員】 令和6年度実績としては、ログイン数12,880件（前年比+386件）、貸出数7,478冊（前年比+58冊）、閲覧数18,119件（前年比▲1,392件）で、前年度より利用数は多くなっているものの更なる啓発が必要と考えております。
28	子どもの読書推進	【平良委員長】 学校図書館と市立図書館の統一システムの導入に向けて、関係部局との連携はどの程度進んでいますか。また課題があるとすればどのようなことですか。	【平良委員長】 令和9年4月開校予定の「（仮称）富秋学園」においては、学校図書館の一部機能を地域に開放し、一般市民に貸出することなどを予定しているため、統一システムの導入に向け

			て、スケジュール等について関係部局と検討を進めているところでは、多額の経費を要することが見込まれることも踏まえ、導入の必要性や効果、構築費用等について十分な検討ができていない状況です。
29	国際交流	【平良委員長】 ①「米国ブルーミントン市からランナー2名を派遣し、ツインシティマラソンに出場したほか」 →「米国ブルーミントン市に派遣されたランナー2名がツインシティマラソンに出場したほか」では？ ②500万円には満たないのですが、予算額と決算額に400万円の差があります。理由は？	【平良委員長】 ①ご指摘のとおりです。修正します。 ②主な理由は、中国南通市の市長公式訪問団派遣事業及びブルーミントン市のランナー受入事業の航空券等手配業務委託料の落札差金によるものです。